

**製品名: Gz- $\alpha$  ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11862**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、マウス、ラット、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	41kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GNAZ
別名	GNAZ; Guanine nucleotide-binding protein G(z) subunit alpha; G(x) alpha chain; Gz-alpha
遺伝子 ID	2781.0
SwissProt ID	P19086
免疫原	抗血清はヒト Gz- $\alpha$ 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

**背景**

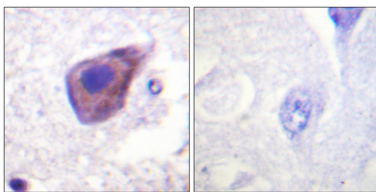
G タンパク質サブユニット  $\alpha$ z(GNAZ) Homo sapiens この遺伝子によってコードされるタンパク質は、百日咳毒素非感受性系におけるシグナル伝達を媒介する G タンパク質サブファミリーのメンバーである。このタンパク質は、蝸牛の外リンパ液および内リンパ液

のイオンバランス維持に関与している可能性がある。[RefSeq 提供、2008年7月],機能: グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (Gタンパク質) は、様々な膜貫通シグナル伝達系において、調節因子またはトランスデューサーとして機能している。、類似性: G- $\alpha$ ファミリーに属する。G(i/o/t/z)サブファミリー。、サブユニット: Gタンパク質は、 $\alpha$ 、 $\beta$ 、 $\gamma$ の3つのユニットから構成される。 $\alpha$ 鎖にはグアニンヌクレオチド結合部位が含まれる。、

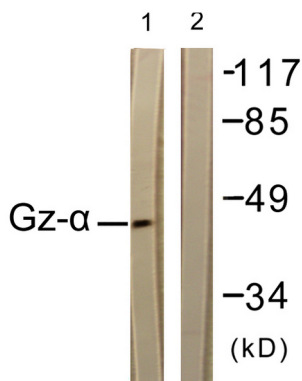
## 研究分野

長期うつ病;

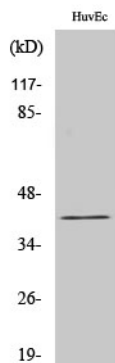
## 画像データ



Gz-alpha 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PMA 125 ng/ml 30 $\mu$ l 処理した COS7 細胞ライセートの Gz-alpha 抗体を用いたウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングした。



Gz- $\alpha$  ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析